

NPO法人 静岡団塊創業塾 平成30年度活動報告資料

R1.5.25：原田

平成27年度に開始した「地域デビュー支援事業」は、団創として県内各地の行政、社協、等より直接講演、セミナーを依頼された。また静岡県が平成28年度より進めている「壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会づくり事業」の実行委員を務めることにより、参加市町に足跡を残すことができた。「居場所（コミュニティーカフェ）事業」は試行錯誤を繰り返しながら継続的に進展中である。平成26年3月4日に開館以降の累積訪問者数は平成30年度末で12296人となった。

1. 居場所事業（シニアライフ支援センター「くれば」運営）

下記のような活動をした。

(1) ミニセミナー事業

毎月行うキャスト会議にてテーマや進め方を議論し、徐々に扱うテーマや講師が更新されつつある。平均の受講者数は約6人であり、これを増やすことが課題。

(2) 歌声喫茶

平成27年4月より始めた「新さんの歌声喫茶」は定期継続開催できた。最近是新規参加者が増え、満席状態が続いており新会員勧誘の場になっている。

(3) NPO事業企画会議

今年度も定期継続開催できた。毎回男性会員10名近くが参加しテーマは多岐に渡った。終了後の「持ち寄りパーティー」は会議で親睦を深めている。

(4) ランチ会

平成28年3月より始めたランチ会は、調理担当として参加していただける会員さんも増え定着している。常連会員以外の参加者も増えつつある。

(5) ルームレンタル事業

空いている時間にスペースをレンタルする事業は、時折需要があるもののコンスタントな収益は得られていない。夜間のみならず午前中のニーズを発掘したい。

(6) 自治会研究班活動

静岡市人材養成講座（デザインカレッジ）修了生で研究班を作り定期的に活動を継続。自治会まるわかりガイドの作成やアンケート調査を実施した。

(7) でん伝体操活動

平成29年度は静岡市の「運動器機能向上事業」として受託した。平成30年度からは自主事業として毎週水曜日の午前中に継続開催している。

(8) 展示棚レンタル事業

平成30年度は下駄の展示スペースとして収入があった。「くれば」開所当初から構想を模索しており、小規模であっても継続的な事業にしていきたい。

2. 地域デビュー支援事業

平成30年度の本事業の実施結果を下表に示す。

(1) セミナー形式で実施分

※会員が「事例紹介」として多数登壇。

場所	日程	イベント名	結果
長泉町	7月～： 昼2回	くすのき学級「地域 で輝くためのセカ ンドライフ講座」	参加者男女20名、前年度に続いての開 催。地域助け合いのカードゲームや笑い ヨガを実施。
御殿場市	12月～： 昼3回	しあわせ探しセミ ナー（県事業）	参加者は男女25人。ライフシフトに大 切な3つのことについて学ぶ。
磐田市	11月～： 昼3回 2箇所	セカンドライフC AFE（県事業）	2会場で実施、各々参加者男女25人。 御殿場市とほぼ同じ内容で実施。
吉田町	12月： 昼1回	福祉のまちボラン ティア講座	参加者男女20名。ライフシフトセミナ ーの短縮版を実施。

(2) 講演形式で実施分

場所	開催日	イベント名	講演タイトル
南部生涯 学習C	9月20日	総合学習「いきいき塾」	元気に過ごす老後の秘訣
浜松市福 祉交流C	9月22日	ボランティア交流集会	人生100年時代の市民活動
ツイン mette 静岡	10月7日	しずおか元気応援フェア 2018	素敵なシニアライフ
沼津市	10月15日	2018 沼津ソーシャルデザ イン塾	まちづくりと介護保険の協働 ～居場所事業からの考察～
浜松市 鴨江アートC	11月10日	人生100年時代マルチス テージへ生き方シフト	マルチステージへ生き方シフト
もくせい 会館	11月22日	静鉄グッドライフセミナ ー	「人生100年時代」の生きが い・健康づくり
御前崎市 文化会館	2月16日	御前崎市社会福祉大会	人生100年を楽しく生きる

3. シニア劇団「くれば座」活動

シニアの部活として平成27年1月にスタートした「くれば座」は大隅座長の秀逸な脚本と舞台背景、それに劇団員の個性が強みとなり下記公演実績ができた。特筆すべきは、約半年をかけ、新たな脚本を団員全員で作りに上げたこと、及び謝金をいただける活動ができたことである。

通算	時	場所	演目
第9回	30年11月5日	清水区高源寺	公園の音楽家
第10回	30年12月18日	富士市「二人三脚」	〃
第11回	31年2月16日	御前崎市文化会館	〃

現在団員は10名ほど、毎月第二第四火曜日を練習日として活動中。

今後「地域デビュー支援事業」での活躍が期待できる。演劇によるメッセージ発信は有効な啓発活動で、演じる側も鑑賞する側も楽しめ、シニア活動に活かせる。

4. 外部機関との関係構築、ピアール活動

(1) 社会参加促進フェア参加

静岡県の壮年熟期事業として各地で「社会参加促進フェア」が開催され、菊川市(8/25)、藤枝市(10/4)、焼津市(10/16)、吉田町(11/7)で静岡団塊創業塾としてブース出展した。

(2) ハッピーシニアライフイベント

3月16日(土)青葉シンボルロードで開催された標記イベントにブース出展してでん伝体操事業のことなどをピアールした。

(3) 「くれば」視察受け入れ

① 5月9日：藤枝市西益津自治会 5名

地区交流センターでのサロン事業の参考にするために訪問。集客するにはどうすればよいか、お互いの問題意識について情報交換した。

② 9月8日：掛川市社協関係者 10名

静岡団塊創業塾の活動をプレゼン後、質疑。地域に居場所が望まれていることはどこでも共通の課題だと感じた。

③ 12月15日：立教大学社会学部学生 9名

4年連続の視察会。活動に関するプレゼン後、学生さんの質問に答える形で進行。シニア世代に関する見方が変わった等の反応があり、我々としても勉強になった。

④ 1月28日：吉田町居場所勉強会 20名

午前中、吉田町の青空カフェ、藤枝市のかいらハウス、を経て訪問。居場所の雰囲気是直接味わっていただく。ユーチューブを活用した集団カラオケは大変好評だった。

⑤ 2月21, 22日：静岡県立大学看護学部計 48名

単位認定活動、「地域包括ケアフィールドワーク」の一環として「くれば」で居場所について体験学習。6つのミニセミナーを準備し、都合8つのグループに分かれて体験。

今後も積極的に視察を受け入れ、少しでも多くの方、異なる世代の方に「くれば」の存在を知っていただきたい。

(4) その他の外部ピーアール

①県壮年熟期事業の宣伝用ポスターの一部に「くれば座」が採用され、9月にJR東海道線で走った「テーマトレイン」車両内に掲示された。団員は車両に乗り込み鑑賞した。

②フリーペーパー「孫と過ごす夏」で「くれば」の活動が紹介された。

5. 情報発信を強化する活動

(1) メールマガジン発信

毎月25日に継続発行し、現在49号となった。ミニセミナーの予定や実績をはじめ、各種行事等の告知をしている。会員予備軍の方への情報伝達手段と考えている。

(2) 「くれば」予定表の配架

「くれば」内と両替町町内会に毎月15日を目処に配架している。平成29年度には高齢者福祉センター等に配架したが効果が確認できず平成30年度は実施を見送った。

6. 会員数の推移

毎年10名強の方が入会され、退会される方とほぼ同数のため約100名で推移。

静岡団塊創業塾が従来から取り組んでいる4仕掛け（会って、繋がって、磨いて、輝く）については、下記のような実績を残した。

(1) 人生100年サミット

平成31年1月に第1回を実施し、静岡県社協ふれあい基金の助成を受け成功裏に終了した。テーマは「人生100年を楽しく生きる」とし、82歳の現役プログラマーとして人気のある若宮まさ子氏に基調講演をお願いし、サミット史上最高の150名が参加された。各団体にブース出展していただいた「出会いの広場」も盛況、ワークショップも盛り上がった。駅南の「居酒屋 賤機はん兵衛」にて懇親会を開いた。

(2) 定期交流会

毎月第四土曜日に実施。理事会からの報告や各自の近況報告のパターンがベースであるが、新入会員さんを知り、旧会員同士でも意外な一面を知り合える場である。

(3) 磨き合い塾

毎月テーマを会員から募集し合計4回実施した。今後も様々な場面で会員同士磨きあう（≒相談しあう）方針を続けたい。

(4) 熟年セミナー

「くれば」のミニセミナー講師として活躍していただく以外に「地域デビュー支援事業」で登壇する機会ができた。平成28年度より理事以外の会員さんにも講師やパネリストを担当していただいております、今年度はその流れを加速させた。

【令和元年度は下記目標により事業を更に拡大していきたい】

1. 「居場所事業」の深耕・・・“やりながら考える、まずはやってみる”の方針を貫く

- ・現在進行中の「仕掛け」を継続、改善する
- ・参加者の意見に耳を傾け、新しいことにも挑戦する
- ・会員間の交流を更に促進する（ex 活動の倶楽部組織化、等）

2. 「地域デビュー支援事業」の深耕・・・行政と協力して我々のパワーアップを目指す

（1）静岡県「壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会づくり事業」

※3年計画は昨年度で終了したが、本年度1年延長して実施される。

※県内各市町に個別にPRすると共に、各地の社会福祉協議会へもアプローチする。

（2）企業内で実施する「定年準備講座」を担当させていただく

3. 様々な機会を使った情報発信・・・我々の存在と居場所の価値を伝える

- ・マスコミやフェイスブックページを効果的に活用する
- ・外部機関とのネットワークを広げる
- ・会員の広報活動、ロコミによる情報拡散を促進する

4. でん伝体操教室（静岡市運動器機能向上事業）

静岡市よりの委託は受けずに独自路線で進める方針を継続する。

『4仕掛け』については、下記のような方針で実施したい。助成金獲得結果、行政との連携、会員のニーズ、社会情勢を見極め柔軟に対応する。

（1）人生100年サミット（団塊サミット改め）

令和2年1月18日（土）に第2回人生100年サミットを行う。

（2）定期交流会

毎月第四土曜日に「くれば」で開催する。後半は歌声喫茶を継続し、活動のウリとする。

※第二土曜日はセミナー予備日。

（3）磨き合い塾

毎月第三土曜日は「くれば」で開催する。会員の持っている事業プラン、地域での活動案、ミニセミナー実施案、等について参加者で試行や議論をする場にする。

（4）<熟年>セミナー

会員個々の得意分野を把握し、その方に特有の“知恵”や“経験”を広く外部にアピールしていきたい。「くれば」の“ミニセミナー”をその導入部とし、一人でも多くの方が「地域デビュー支援事業」の講師やパネリストとして登壇する機会を作る。

以上

1. シニアライフ支援センター「くれば」写真



コミュニティーカフェ



歌声喫茶

2. 地域デビュー支援事業写真



静岡県壮年熟期事業セミナー（御殿場市）



御前崎市社会福祉大会

3. その他事業の写真



第1回人生100年サミット



くれば座公演「公園の音楽家」